

主要分野における今後の検討事項（案）

令和8年4月13日

検討課題①

産業構造の転換等を見据えた人材育成

論点	検討の方向性
<ul style="list-style-type: none">産業構造の変化を踏まえた高校から大学・大学院までを通じた人材育成システム改革（成長分野や地域のイノベーション人材や現場人材の育成）	<ul style="list-style-type: none">大学の機能強化と量的規模の適正化<ul style="list-style-type: none">▶ 理工・デジタル系人材の育成▶ 大学等間連携促進等による地域の高等教育へのアクセス確保、量的規模の適正化に向けた経営体力がある段階での撤退の促進等職業人材育成の充実（リ・スキリング、専門学校の機能強化等）

検討課題②

「新技術立国」を目指す、科学技術・イノベーション施策

論点	検討の方向性
<ul style="list-style-type: none">研究力の低下（TOP10%論文数など）研究開発投資の伸び悩み	<ul style="list-style-type: none">第7期科学技術・イノベーション基本計画（※）について、EBPMを踏まえた、着実な推進（特に、科学技術人材の育成や、研究大学群に対する支援方策の検討など。また、若手研究者の活躍機会、研究の国際性、資源配分の硬直性を改善する取組にも留意）官民投資を伸ばす取組

（※）6つの柱：①知の基盤としての「科学の再興」、②技術領域の戦略的重点化、③科学技術と国家安全保障の有機的連携、④産学官を結節するイノベーションエコシステムの高度化、⑤戦略的科学技術外交の推進、⑥推進体制、ガバナンスの改革